

■ ジュンサム (ベース・作曲)

韓国のソウルで生まれ育ったジュンサム・リーはニューヨークに 2007 年に移り、ビバップジャズ、即興音楽、フリージャズ、ロック、クラシック、ワールドミュージック、ブロードウェイなど音楽で幅広いプロジェクトに参加している。マンハッタンに移住してからニューヨークの数々の素晴らしいクラブや会場でサイドマンだけでなくバンドリーダーとしても活発に活動している。Bluenote, Dizzy's club, Kitano, Cornella st. cafe, Zinc bar, 55 bar, Smalls jazz club, Fat cat, Cleopatra's needle, Jazz Gallery や Jarasum International Jazz Festival (韓国) Taichung Jazz Festival (台湾) Grand Tour Jazz festival, Jazz di Marca Jazz Festival (イタリア) Odessa International Jazz Festival, Vinnista Jazz Festival (ウクライナ) やシンフォニーオーケストラ (NYUJO, NYKJO, Leon Lacey など) で演奏した経験がある。

■ 広瀬未来 (トランペット)

広瀬は彼の故郷、神戸で高校時代からトランペットを吹きはじめた。彼の才能が開花し瞬時に関西で引っ張りだことなる。高校を卒業後、広瀬はその才能が認められ、中山正治ジャズ大賞 やなにわ芸術祭新人奨励賞の最年少受賞者のうちの一人となった。日本滞在中、MC DSK、DJ Taninaka、2002 年 DMC Japan ファイナリストの DJ FUL による関西拠点の評価の高いグループ、Hip Hop group Blue Control などに参加する。

2003 年に彼がニューヨークに渡米しフリーランストランペット奏者として活動を始める。Benny Golson, Dr. Lonnie Smith, Frank Wess, Billy Harper, Frank Lacy, Premordial Jazz Funktet, Rick Parker Collective, Harlem Renaissance Orchestra, Valery Ponomarev Big Band, La Excelencia, Pedro Giraudo Jazz Orchestra, Matt Snow group などニューヨークで数々の有名なアーティストと演奏してきた。

彼は数々のレコーディングにも参加し、世界的にも活躍を続ける。

2010 年には彼のデビューアルバム「A DAY IN NEW YORK」をリリースし、アメリカや日本のラジオで高い評価と称賛を得る。その後、彼がラテンの影響を受けていることがわかるセカンドアルバム「Scratch」をリリースした。

2014 年に日本に拠点を移し、国内でトップクラスとなった自身のジャズオーケストラ、Miki Hirose Jazz Orchestra を結成。彼の神戸での活動が評価され神戸市から神戸市文化奨励賞を受賞する。

■ 崎田治孝 (ドラム)

1984 年に兵庫県神戸市に生まれた崎田治孝は甲南中学校の甲南ブラスアンサンブル部で彼のドラム人生がスタートした。中学時代は関東ステューデントジャズフェスティバルにおいて優勝、ナイスプレーヤー賞を受賞した。高校時代にはメインドラマーを務め、2 年連続でジャパンステューデントジャズフェスティバルに優勝し、2 年目にはナイスプレーヤー賞を受賞する。学生時代には渡辺貞夫、日野皓正、ケイコ・リーなど数々の有名なミュージシャンからそのドラム技術に高い評価を受けイギリス、フランス、アメリカでも演奏することになった。

甲南大学のジャズ研に所属し、ニューポートスウィングオーケストラでも演奏した。第 36 回 Yamano Big Band Contest では最優秀ソリスト賞を受賞する。この頃から関西のライブハウスを中心に、ジャズコンボや、ビッグバンド、フュージョンバンド、インディーズバンドのサポートなど 様々なジャンルで個人の音楽活動をはじめた。

2008 年に大学を卒業した後、3 ヶ月間ニューヨークに滞在。Roy Hargrove, Justin Brown, Joe Sanders など、世界的に有名なミュージシャンとセッションを重ね、多大な影響を受ける。帰国後、浅井良将(As)・大友孝彰(P) 出宮寛之(B) らとともに "Swing Jam Band" を結成し、全国各地で活動する。2011 年 1 月より、活動拠点をニューヨークに移しニューヨーク市内のライブ会場で様々なバンドと演奏する。2011 年 12 月には、Ryan Brennan organ trio のアルバム「181」に参加し、Cross Town Record の所属アーティストとなる。2012 年 9 月より New York City College に入学するが 2013 年に大学を中退し、演奏を中心に生活を始め、5 月に Joonsam Lee Trio、9 月に Yuko Okamoto Quartet でウクライナツアーに参加する。その後 2015 年に帰国。現在名古屋を拠点に全国各地で活動中。

■ フランチェスカ・ハン (ピアノ)

ピアニスト、フランチェスカ・ハンの演奏はクラシックの繊細な情動性とロックの抑制されないあふれる感情の両方をとらえている。現在彼女は伝統を置きながらもユニークな表現を目指すジャズのアプローチを発展させている。

彼女の自国、韓国での急速な成功を達成した後、2004 年にニューヨークに渡ることを決心した。Queens College にてジャズパフォーマンスでピアニスト David Berkman と Bruch Barth、トランペット奏者であり編曲者の Michael Mossman、サクソ奏者 Antonio Hart の指導のもと修士課程を修了した。彼女の 8 年間のニューヨークの活動は様々なジャズグループと数々の会場 (Dizzy's Club Jazz at Lincoln Center, 92nd street Y, Kitano, sofia, garage, fatcat, smalls, Cleopatra's..) での演奏や Jarasum Jazz Festival, Taichung Jazz Festival, Penang Jazz Festival などの国際ジャズフェスティバルにも参加した。

彼女のジャマイカセンターでのカルテット演奏はそのジャズと韓国の伝統的な音楽の調和が New York Daily News で称賛を獲得した。